



『タマネギ収穫時期の病害対策』

タマネギの中晩生品種も収穫の時期が近付いてきています。貯蔵中に中から腐敗する灰色腐敗病の感染株を増やさない為に防除を行いましょう。その他にも小菌核腐敗病、灰色かび病の発生の恐れもありますので同時に防除できる登録農薬を選択しましょう。

灰色腐敗病

小菌核腐敗病

灰色かび病



菌核

斑点状の病斑

《灰色腐敗病感染株の特徴》

- ・玉の肥大期の軽症株は外側の鱗片が割れたようになりこげ茶色しに変色し、ネズミの糞のような菌核を形成する。
- ・下から2～3枚目の葉がやや黄変、軟化し垂れ下がってきます。

発病株の抜き取り

発病株は放置しておくとう子がほ場全体に蔓延し2次感染を繰り返します。見つけ次第抜き取り、ほ場外に持ち出し焼却しましょう。症状の軽い場合は感染部（変色・腐敗している部分）を取り除いて様子を見ましょう。

薬剤散布

- ・すでに感染株が確認された場合は、早めの防除をしましょう。
- ・散布は葉から株元までしますが、特に株元へしっかり散布しましょう。
- ・感染株が見られないほ場でも予防の為に農薬の登録を確認して防除しましょう。また、効果を安定させるために必ず展着剤を混用してください。
- ・続けて散布する場合は、FRACの異なる薬剤をローテーション散布してください。

《例 1回目/スミレックス水和剤 2回目/ベンレート水和剤》

※FRACが同じ薬剤を続けて散布すると耐性菌が出現し徐々に効きにくくなります。

タマネギの灰色腐敗病・灰色かび病・小菌核腐敗病に同時防除可能な登録農薬の例

令和3年5月17日現在

薬剤名	希釈倍率(倍)	使用回数制限(回)	使用時期	有効成分	予防治療効果(目安)	FRAC ※	有効成分の総使用回数制限(回)
ベンレート水和剤	2000倍	6回以内	収穫前日まで	ベンゾミル	予+治	1	散布は6回以内
スミレックス水和剤	1000倍	5回以内	収穫前日まで	プロシミドン	予+治	2	5回以内
ロブラール水和剤	1000倍	3回以内	収穫7日前まで	イプロジオン	予+治	2	4回以内 (種子紛衣は1回以内、 は種後は3回以内)
アフエットフロアブル	2000倍	4回以内	収穫前日まで	ベンチオピラド	予+治	7	4回以内
カナメフロアブル	4000倍	4回以内	収穫前日まで	インビルフルキサム	予+治	7	4回以内
カンタスドライフロアブル	1500倍	3回以内	収穫前日まで	ボスカリド	予+治	7	4回以内 (定植前1回以内、 定植後は3回以内)
バレード20フロアブル	2000～4000倍	3回以内	収穫前日まで	ピラジフルミド	予+治	7	3回以内